

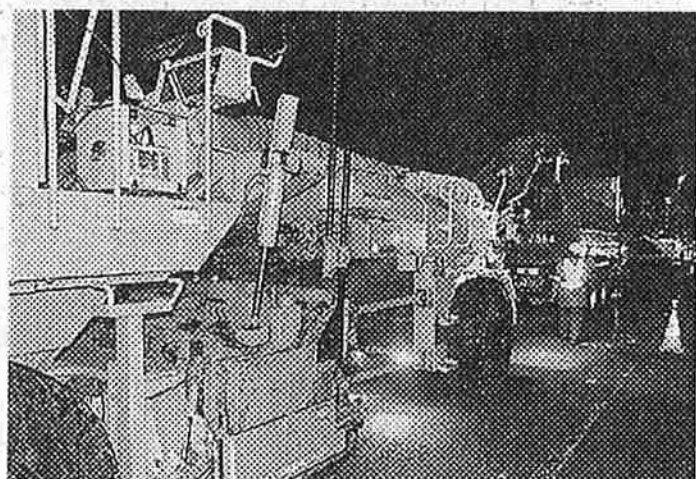
切削舗装現場で 情報化施工採用

世紀東急工業

【函館】世紀東急工業（本社・東京）は、函館開建発注の5号七飯町峠下交差点舗装ほかの現場にマシンコントロールな

どの情報化施工を採用し、作業の効率化や安全確保、出来型管理の精度向上を図っている。

現場は峠下工区と西大沼工区に分かれ、現在は峠下工区で路面の切削とオーバーレイ舗装を実施中。受注者提案として、



切削作業には自動追尾式トータルステーションを用いたマシンコントロールシステムを採用し、現場の交通量が多いことから夜間施工している＝写真。

また、舗装の転圧作業にもGPS自動追尾転圧締め固めシステムを導入し、運転員が施工面の温度や転圧回数的情報を得ながら施工するなど品質向上にまい進。

中畑浩現場代理人は「当社としても情報化施工を積極的に採用し、工期短縮や品質向上を図っていく」と話している。